

インフルエンザワクチンの接種を実施するにあたり、接種を受けられる方の健康状態を把握する必要があります。そのため、健康状態をよく把握している保護者の方が、予診票にできるだけ詳しくご記入の上、医師の診断をお受けください。

●ワクチンの効果と副反応

種 類	HA ワクチン（不活化ワクチン）	経鼻弱毒生インフルエンザワクチン（フルミスト点鼻薬）
効 果	インフルエンザ感染を予防したり、症状を軽くすることができます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。	インフルエンザウイルスを弱毒化した生ワクチンです。接種後に体の中で増えたワクチンウイルスに対する免疫ができ、インフルエンザウイルスの感染を予防します。
副反応	重大な副反応として、まれにショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など）があらわれることがあり、そのほとんどは接種後 30 分以内に生じますが、まれに接種後 4 時間以内に起こることもあります。その他、ギラン・バレー症候群、けいれん、急性散在性脳脊髄炎、脳症、脊髄炎、視神経炎、肝機能障害、黄疸、喘息発作などがあらわれたとの報告があります。 まれに接種直後から数日中に、発疹、じんましん、紅斑、掻痒などがあらわれることがあります。 発熱、悪寒、頭痛、倦怠感などを認めることがありますが、通常、2～3 日中に消失します。 発赤、腫脹、疼痛などを認めることがありますが、通常、2～3 日中に消失します。	鼻閉・鼻漏、咳嗽、口腔咽頭痛、頭痛などがみられることがあります。また重い副反応としてショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など）や、海外ではベル麻痺を含む脳神経障害、脳炎、けいれん（熱性けいれんを含む）、ギラン・バレー症候群（手足に力がいはいらない、しびれ、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しいなど）、血管炎（発熱、頭痛、倦怠感、紫斑、紅斑など）などが報告されています。

●予防接種を受けることができない方

- 1) 明らかに発熱をしている方（通常は 37.5℃を超える場合）
- 2) 重い急性疾患にかかっていることが明らかな方
- 3) 過去に本ワクチンに含まれている成分で、アナフィラキシー（通常接種後 30 分以内に出現する呼吸困難や全身性のひどいじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）を起こしたことある方
- 4) 明らかに免疫機能に異常のある疾患をお持ちの方、免疫抑制をきたす治療を受けている方
- 5) 経口または注射の副腎皮質ホルモン剤を使用している方
- 6) 妊娠していることが明らかな方
- 7) その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方

●予防接種を受ける際に医師と相談していただく方

- 1) 薬の服用または食事（鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のもの）、ゼラチン含有製剤またはゼラチン含有の食品に対して、過敏症（ショック、アナフィラキシー、じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など）を起こしたことがある方
- 2) 腎臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患のある方
- 3) 過去に予防接種で接種後 2 日以内に発熱、全身性の発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた方
- 4) 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある方
- 5) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方、または親近者に先天性免疫不全症の方がいる方
- 6) 呼吸器系疾患を有する方（重い喘息のある方または喘鳴の症状のある方、間質性肺炎等）
- 7) 発育について、医師、保健師の指導を受けている方
- 8) サリチル酸系医薬品（アスピリンなど）、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸を服用している方

●予防接種を受けた後は以下の点に注意してください

- 1) 接種後は、ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など）が起こることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- 2) 接種当日は過度な運動は避けてください。また、健康状態に十分注意し、体調の変化、高熱などの異常な症状を呈した場合には、すぐに医師の診察を受けてください。なお、接種当日の入浴は差し支えありません。
- 3) 接種後 1～2 週間は乳児や重度の免疫不全の方との接触を可能な限り控えましょう。

●予防接種健康被害救済制度

予防接種法の定期接種によらない任意の接種によって被害が生じた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく補償となります。

■ 問合せ 真庭市健康福祉部健康推進課
TEL / 0867-42-1050
FAX / 0867-42-1388

CENTRAL
GARDEN
MANIWA